

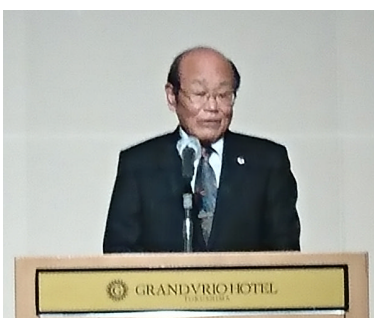
▼ 会員・クラブが一丸となった仲間づくりを

～市町村老人クラブ連合会役員等研修会を開催しました～

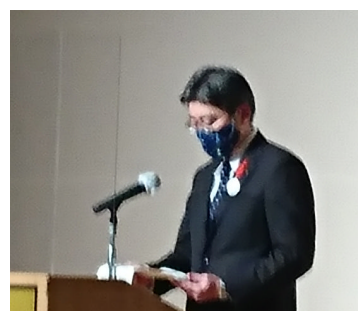


令和3年1月7日(木)徳島市の徳島グランヴィリオホテルにおいて、「市町村老人クラブ連合会役員等研修会」を開催しました。本年度は「新型コロナウイルス感染症」の感染防止のため、例年行っていた「新年互礼会」を中止、研修のみの実施となりました(各市町村老連役員等41名が参加)。

細井会長の挨拶, 徳島県知事(仁井谷保健福祉部長による代読)からの来賓挨拶に続き, 研修のテーマである「会員増強」について, はじめに橋本常務理事兼事務局長から基調説明が行



細井 県老連会長



仁井谷 保健福祉部長

われ, 減少傾向に歯止めをかけることができなかった令和元年度の取組結果, 新たな会員増強運動である「老人クラブいきいき仲間づくり運動」, 会員増強運動の取組にあたっての各市町村老連の対応(体制づくり等)についての調査結果の説明がありました。



岩朝 徳島市老連会長

その後, 事例紹介として, 令和元年度に89名の会員増を達成した徳島市老連の岩朝会長から, これまでの取組として, 専門部(会員加入促進委員会)の立ち上げや募集用リーフレットの作成・配布, 市の広報紙への掲載などがあげられ, 昨年度の取組としては, 単位クラブの新設を狙い, 空白地域が多い行政区への働きかけや広域型(同じ趣味や経歴等)の推奨, 地域の有識者の勧誘などの取組が紹介されました。あわせて目標の設

定(1単位クラブあたり2名以上の純増),解散休会クラブの復活,行政の協力体制といったことも増加につながったとされました。

研修会の後半では,「ポリファーマシーとジェネリック医薬品について」と題して,徳島県薬剤師会 伊勢佐百合 副会長を招いてご講演いただき,高齢者が多剤併用となる原因や影響(副作用など),注意事項について説明がありました。またジェネリック医薬品は,徳島県が普及率が全国最下位であることが紹介され,普及に向け,その安全性などについて説明いただきました。

